

レオナルド・ダ・ヴィンチ その作品と生涯

講師 元ルーブル美術館修復員・絵画修復家 加賀優記子

現在、レオナルド・ダ・ヴィンチの「白豹を抱く貴婦人」の展覧会が開催されています。「モナ・リザ」以来のダ・ヴィンチ作品の来日です。

これを記念して、巨匠の生きたルネッサンスという時代、ダ・ヴィンチの生涯をさまざまな角度からお話してみたいと思います。また、多くの美しいスライドを使用し、巨匠の絵画テクニックや作品が制作された経緯などについて、修復家ならではの視点で解説します。
(講師・記)



〈講師紹介〉かが・ゆきこ

1982年武蔵野美術短期大学油絵専攻科卒業。84年渡仏。パリ国立美術大学に学ぶ。86年ルーブル美術館修復家クリストフ・クシェジェンスキー氏に師事。氏の弟子として、ルーブル美術館契約修復員となり、ルーブル宮殿天井画、コングルの間、ドラクロワ作サルダナパリュスの死、他の修復作業に従事する。92～94年フランス国会議事堂ドラクロワ天井画他修復研修。90年「鎌倉美術修復工房」設立。ルノワール、モネ、ピカソ、レジェ、フジタ他日本の画家多数修復。IIC (THE INTERNATIONAL INSTITUTE FOR CONSERVATION) 会員。